

# 視聴覚教育

NO. 361  
発行日 22. 3. 19  
発行 岡崎市AVL  
編集 現職研修委員会  
学習情報部

## この一年の歩み

学習情報指導員 森 竜師

本年度特筆すべきことは、まず視聴覚教育総合全国大会と放送教育研究会全国大会の合同大会が、愛知県の岡崎・豊田・豊橋の三市で、初めて地方開催されたことである。岡崎市では、大会一日目に羽根小学校、甲山中学校、光ヶ丘女子高等学校、岡崎市図書館交流プラザ・りぶら（発表・岡崎市視聴覚ライブラリー）で授業公開や実践発表が行われた。また、大会二日目には岡崎市民会館を会場にして、全体会や研究分科会が開催され、岡崎市は本合同大会の中心的役割を担った。延べ約三七〇〇人の参加者を得て、本市の教育におけるICT活用を全国にアピールすることができた。

次に、国の「スクール・ニューデール構想」により、50インチ大型ディスプレイとノートパソコンなどの周辺機器が、市内全小中学校の普通教室に配備された。これによって、普通教室で行われる毎日の授業の中で、鮮明で鮮やかな映像や画像が手軽に提示できるようになった。新しい授業のスタイルを予感させる教育の革命

と言えるだろう。

一方、基盤整備としては、教育ネットワークサーバの更新、市内8校への校内LAN整備、12校への職員用ノートパソコン配備が行われた。その他には、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、応募したビデオ作品がすべて入賞を果たした。また、県コンクールでは、三部門で最優秀賞（県教育長賞）を受賞するなど、6作品が入賞した。また、子供たちが制作した作品は、アジア国際子ども映画祭INいぶすきやKW（キッド・ウィットネス・ニュース）グローバルコンテスト、全国子ども科学映像祭など、全国規模のコンクールで入賞を果たした。視聴覚ライブラリー主催の「子どもビデオ教室」が、子供たちのビデオ制作活動を進める力となっている。

本年度も、このように多方面で素晴らしい成果を残すことができた。今後は、有用なコンテンツの一層の充実と、これらを活用した積極的な授業実践が期待されることである。



## 視聴覚用語

「WAV (WAVE)」  
Windows 標準の音声ファイルの形式。WAVE形式などとも呼ばれる。圧縮されておらずCDと同じ高音質。しかし、容量が大きいため、MP3等の携帯プレーヤーではMP3形式などに圧縮して利用している。

## || 視聴覚教育あれこれ ||

平成21年度（第54回）

愛知県自作視聴覚教材コンクール結果発表

【生涯学習部門・ビデオ教材部門】

・最優秀賞（教育長賞）

「ヒメハルゼミ」山中八幡宮に残された

生きた化石」自作教材制作委員会D班

・優良賞

「利尻島・礼文島トレッキング紀行」

矢野 正義

【学校教育部門・ビデオ教材部門】

・最優秀賞（教育長賞）

「蘇る手描き幟」伝統を作り出す若者たち」

自作教材制作委員会B班

・優秀賞

「伝統の技を守る」三河仏壇の挑戦 アートマ

ン・ジャパン」自作教材制作委員会A班

・優良賞

「しんせんでおいしいたまご作り」

自作教材制作委員会C班

・佳作

「玉結び&玉止めに愛を込めて」

井田小学校 内田 雅之

【学校教育・コンピュータソフトウェア部門】

・最優秀賞（教育長賞）

「きょう土につたわるねがい2009」

自作教材制作委員会G班

・優秀賞

「Sound of OKAZAKI」音のヒミツを探ろう」

自作教材制作委員会F班

## 実践報告Ⅱ イメージを膨らませる天体の授業

六ツ美北中学校 岡 秀之

理科の授業において実物に勝るものはない。しかし、すべての単元において、実物を提示できるわけではないことも事実である。その一つが天体の授業である。天体の授業は、資料や言葉をもとに、生徒自身がイメージを作り上げることが要求される。ここに生徒の個人差が生まれてしまう。例えば、太陽系の惑星の動きについて、次の手順で生徒にイメージをさせてみる。

- ①地球を自転させる。
- ②地球を自転させたまま、太陽のまわりを公転させる。
- ③その地球のまわりで月を公転させる。

実際に生徒にイメージさせても、半分近くの生徒が「できない」と言う。そこで生徒がイメージをもちやすくすることを考えた。

教室に大型テレビとパソコンが導入された。

このパソコンの中に太陽系のシミュレーションソフトがインストールされているので、イメージ作りを試みた。何度も説明を加えながら、繰り返し操作をしてみせると、多くの生徒が「やっとわかった」と漏らしていた。ビデオよりもゆっくりのペースで、繰り返し見せられるところが良かった。

ぜひ、活用をしてみてもいいだろうか。歓声が上がることも間違いなしである。



## レッツ・トライⅡ 手軽に録音ができる「CD-2e」

小学校での音楽の授業や中学校での合唱コンクールのとき、子供たちの声を手軽に録音して再生したいと思うときがある。そんなときに勧めの機器が、「CD-2e」だ。

一つ目の特徴は、操作がとても簡単なことだ。SDカードを挿し、録音ボタンと再生ボタンを押したら録音開始である。録音レベルも、最大音量のときに「ピークランプ」が一瞬点灯するように調節するだけである。再生についても、ボタンで聴きたいトラック番号を選んで再生ボタンを押すだけのため、小学生でも十分操作可能である。



二つ目の特徴は、マイクが内蔵されているため、この機器一つあれば他には何もいらぬ手軽さだ。もちろん、外部マイクを使ってより精密な音を録音することも可能だが、内蔵のマイクでも十分である。

三つ目の特徴は、CD-Rに書き込むことができることだ。しかも画面に手順が出てくるため、それに従って行えば簡単に音楽CDを作成することができる。当然、パソコンにデータとしてWAVEファイルで保存することもできる。使ってみるとよく分かるが、本当に誰でも簡単に使うことができる。

(額田中学校 学習情報主任 笠間 大樹)

## ライブラリーだより

### ●2009年度KWN日本コンテスト

KWN(キッド・ウィットネス・ニュース)は、パナソニック財団が子供たちを対象とした教育支援プログラムで、ビデオ制作活動を通じて、創造性やコミュニケーション能力を高め、チームワークを養うことを目的としているコンテストである。今年度は岡崎から2作品が入賞した。井田小学校は、2年連続の最優秀作品賞を受賞した。

#### 【最優秀作品賞・撮影賞】

「CHANGE」それは、今。」

井田小学校 5年4組

#### 【チャレンジ賞】

「職場体験学習から学んだこと」

美川中 2年生ビデオ制作グループ

### ●第12回キューブ活用コンテスト

キューブ活用コンテストは、スズキ教育ソフトがキューブシリーズなどを使ったパンフレットやスライド作品を対象に行っているコンテストである。昨年度に引き続き、生平小学校が入賞した。

#### 【活用賞】

「ふるさとの昔話」

生平小学校 6年生

【編集後記】今年度も、岡崎の視聴覚教育の取り組みについてお伝えすることができました。多くの実践例や情報をお寄せいただき、ありがとうございました。ございました。岡崎市内全小中学校に、大型ディスプレイをはじめとした機器が設置され、今まで以上に情報教育が進むことと思います。来年度も一層の充実を図ってまいります。